

一般財団法人FM八女(福岡県八女市)

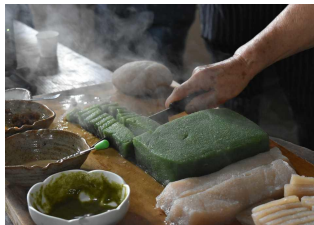
- 八女市随一の食資源「八女茶」は毎年実施される全国茶品評会にて23回連続で産地賞に選ばれるなど品質・味とも高い評価を受けている。
- 茶やイチゴ(あまおう)を筆頭とした農作物や米など年中豊富な食材に恵まれている。
- かつて九州の交易の要所として栄えた名残である、古い白壁の町並み(国選定重要伝統的建造物群保存地区)や伝統工芸産業がいまなお地域に残っている。

【地域の食】



<八女茶>

日本茶として初めて地理的表示(GI)保護制度の認定を受ける。「茶のくに」八女では、お茶を使ったグルメのほか抹茶ひきなど体験メニューがそろう



<こんにゃく>

かつては果樹の折れ枝を燃焼させた木灰を使用し、こんにゃくを凝固させる灰汁を取っていた。今なお家庭で手作りする習慣が残る地域も

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	R5	R9
訪日外国人宿泊者数 (単位:泊)	300	1,200
観光案内所来訪者数 (単位:人)	100	300

【周遊ルート】

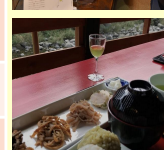
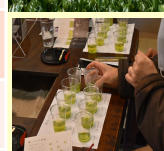
ルート1 サステナブルステイ in 八女

時間	目的
1日目 10:00~ 11:15	農家の解説付き野菜収穫体験 (立花地域)
12:00~ 12:30	旧大内邸見学ツアー (旧大内邸)
12:30~ 13:30	白城のおだいどこ よーらこんねでランチ (旧大内邸)
14:30~	農家民宿 大道谷の里でこんにゃく作り (農家民宿 大道谷の里)
16:00	こんにゃく完成、試食
17:00	地元のお母さんと郷土料理作り
2日目 10:00~ 12:00	竹細工など伝統工芸体験 (工房or旧大内邸)
12:00~	NIPPONIA 八女商家町でランチ
13:00~	八女福島の白壁の町並み散策



ルート2 奥八女茶満喫コース

時間	目的
1日目 9:30~ 10:00	八女中央大茶園展望所
10:30~ 12:00	角田製茶による体験プログラム 「五感で感じる奥八女茶」 (上陽町)
12:30~ 13:30	いりり処にわのとりでランチ (上陽町)
14:00	Kashikichi 星の村で八女茶スイーツ購入
14:30~ 15:30	星野製茶園 工場見学
16:00~	温泉旅館 池の山荘 宿泊
2日目 10:00~ 11:30	茶の文化館 製茶体験 (星野村)
12:30~ 13:30	茶寮 千代乃園でランチ
14:30	観光物産館ときめきで八女茶ソフト (八女市街地)



食と農の景勝地・（一社）島原半島観光連盟（長崎県島原半島）

○「雲仙火山」をテーマに、湧水を生かした「そうめん」や「かんざらし」、火山に強い植物であるハゼから作る和蝋燭など工芸や自然景観、火山の恵みである温泉を楽しめる宿など火山と人の共生を周遊を通して体感できる。

○半島内共通の無料 Wi-Fi 整備、電話番号登録による電話での翻訳対応事業、地元公共交通機関と連携したフリーパス販売など、多方面で周遊のサポートを強化。

【地域の食】



温泉蒸し料理



島原手延べそうめん



かんざらし

○半島に湧き出る湧水を利用する「かんざらし」、日本一熱いと言われる源泉温度を利用した「温泉蒸し料理」の様に、多様な食文化を形成。

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	H30	R5
外国人宿泊者数	44,959 人	102,000 人

【周遊ルート】火山と生きる、ジオの恵みを五感で体感 ～水が繋ぐ食文化～

小 浜 [ほっとふっと105] 足湯、貸し蒸し釜

雲 仙 [雲仙地獄] 地熱体感、地獄めぐり

南島原 [山の寺 邑居] 湧水でそうめん流し

島 原 [湧水庭園 四明荘] 湧水庭園見学

島 原 [しまばら湧水館] かんざらし作り体験

島 原 [島原城] 内部展示、天守閣展望所

中央帯には温泉宿、南部では民泊も実施

「雲仙温泉郷」として
一体感のある楽しみの提案

島原市 雲仙市 南島原市

地域連携

まるで地元にいる様に
楽しんでもらう為に

無料 Wi-Fi、電話翻訳、地
元公共交通フリーパス整備

多方面からの周遊促進



阿蘇カルデラツーリズム推進協議会（熊本県阿蘇市）

- 九州の中心部に位置する熊本県阿蘇市は、活火山とカルデラが育んだ唯一無二の自然環境の中で受け継がれてきた農耕文化と広大な草原空間を有する。
- 草原育ちの「あか牛」をはじめ、「阿蘇たかな漬」に代表される発酵食品や田楽等の料理などが、火山と人々の共生により育まれてきたユニークな食文化がある。
- 阿蘇の風土や食、人々の魅力を国内外に発信する「阿蘇テロワール運動」を推進。

【地域の食】



■ あか牛と田楽

草原で牧草を食べて育ったあか牛を中心に、里芋や厚揚げなどを、囲炉裏端で炭火で焼いて食す。



■ 阿蘇たかな漬

阿蘇高菜は、寒冷な気候と火山灰の大地が育む伝統野菜で、漬物は家庭や飲食店で広く親しまれている。

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	R4(現在)	R8
郷土料理提供店舗数(店)	18	22
飲食関係消費額(億円)	65	77
テロワールガイド数(人)	2	7

【周遊ルート】 千年の草原*の守り人になる！2日間

※千年の草原:約千年前の平安時代の法律書「延喜式」に草原の記載があることによる。

千年以上前から農家が実践してきた持続可能な農業と暮らし、自然への畏敬の念を感じる旅



阿蘇の野菜やあか牛等の農産品や漬物、味噌等の加工品、更には田楽等の料理が、阿蘇の人々の手によって育まれる現場を訪れ、生産者や料理人との交流を通して、阿蘇のテロワールを楽しむ。



阿蘇くじゅう国立公園や世界農業遺産、ユネスコ世界ジオパーク等に認定された阿蘇の草原やカルデラ地形をフィールドに、E-MTBサイクリングや乗馬等を通して、自らの身体を動かしながら阿蘇の魅力を体感する。また、地元の様々な食が楽しめる商店街散策や、国選択無形民俗文化財の「中江の岩戸神楽」のほか、国指定重要無形民俗文化財の農耕祭事など鑑賞する。

一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏(大分県国東半島地域)

- 神仏習合の発祥と言われる「宇佐神宮」を起源として栄えた六郷満山文化、世界農業遺産に認定された循環型農業、日本を代表する別府温泉など、歴史・自然・文化が色濃く残る、国東半島地域。
- 地域の祭りや農村景観、「だんご汁」などの郷土料理と農村民泊、別府温泉等をかけ合わせた滞在交流型観光を推進。

【地域の食】



(だんご汁)

家庭料理として愛されてきた優しい味わいの「だんご汁」。だんごの作り方は地域や家庭によって様々。



(原木しいたけ) (牡蠣) (行幸会の道おもてなし料理)

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	R2	R6
外国人宿泊者数 (千人)	38	789
旅行消費額 ※1人あたり(円)	65,204	73,204

【周遊ルート】～日本の記憶を巡る旅 宇佐神宮「行幸会の道」～

1
日
目

別府発

- ・宇佐神宮「行幸会の道」をたどる(薦神社～宇佐神宮～八幡奈多宮)
- ・農家さんと「だんご汁」づくり
農村民泊

2
日
目

- ・農家さんと「おにぎり」づくり
- ・国東半島峯道ロングトレイル
(昼食: 自分で握ったおにぎり)
別府温泉泊

3
日
目

- ・別府温泉2湯めぐり
(明礬温泉→鉄輪温泉)
- ・別府地獄蒸し料理体験
別府着



フォレストピア高千穂郷ツーリズム協会（宮崎県高千穂郷・椎葉山地域）

- 九州山地の恵まれた森林資源や森林空間を活用し、そこに息づく郷土食と、森林セラピー、暮らし・文化体験などをプログラム化した「ジアスツーリズム」を推進。
- ゲストハウスや集落ボランティアセンターを中心に、歩くプログラムである「フットパス」や、「焼畑＆山暮らし塾」「夜神楽交流」「藁・竹細工交流」等の各種交流プログラムを体験でき、「景観・環境保護」が一体となった取組を実施。

【地域の食】



（神楽料理）



（焼畑料理）

○地域で伝承される87の「神楽」の際に家庭で振る舞われる料理や、古来より継承される「焼畑」を活用した蕎麦料理等、山間地での暮らしで育まれた豊かな食文化。

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	H28(現在)	H33
外国人旅行者	1,000人	3,000人

（ゲストハウス、民泊利用のインバウンド）

【周遊ルート】～ジアス山里暮らしの知恵を世界と共有～

	朝・朝食	午前のプログラム		昼食	午後のプログラム			夕食
初日		宮崎空港	レンタカー等で移動 (90分)	諸塚村 どんこ亭 (しいたけビュッフェ)	モザイク林・シイタケほだ場 (見学・収穫体験)	高千穂町 ・山腹用水路と棚田 (高千穂町・見学) ・天岩戸神社 (天孫降臨の神話・見学) ・高千穂峡 (高千穂町・散策)		神楽の館 (神楽鑑賞、御神楽料理、宿泊、交流)
								
2日目	国見が丘 (雲海・日の出見学)	椎葉民俗芸能博物館(見学)	仙人の棚田 (散策)	古民家 (焼畑・山里料理)	フットパス (五ヶ瀬町・里山散策)		宮崎茶房 (有機釜炒り茶釜炒り体験・テイスティング)	農家民泊 (五ヶ瀬町・宿泊、交流)
								
3日目	農泊 (朝食)	森林セラピー (日之影町・散策)		セラピービュッフェ	わら細工体験 (縁起物づくり)		移動 (90分)	熊本空港
								